

ODAWARA

2025年12月期（第47期）
第2四半期（中間期）
決算説明資料

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2025年8月12日

ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.

○経済の動向・当社グループを取り巻く環境

◀我が国の経済▶

- ・消費者物価の上昇が続く中で消費者マインドは弱含んでいる
- ・雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかに回復した

◀世界経済▶

- ・欧州…景気は持ち直しの動きがみられた
- ・中国…景気は足踏み状態が続いた
- ・米国…GDP成長率がマイナスになり景気の拡大が緩やかになった
- ・全体…持ち直しの動きが緩やかになった

◀巻線機事業の主要顧客である自動車産業の動向▶

- ・米国の関税政策の影響、EV化進展の遅れなどにより計画の延期や見直しが続いた
- ・依然として先行き不透明で厳しい状況が続いている

○連結業績概要

《営業成績》

(単位：百万円)

指標	実績	前年同期比	増減要因
売上高	10,359	123.5%増	
営業利益	2,044	337.7%増	▶ 巻線機事業において、前期からずれ込んでいた案件を含む×EV用モーター巻線システムのいくつかの案件を売り上げた
経常利益	2,044	264.9%増	▶ 下期に売上を予定していた追加治具や改造案件を前倒しで売り上げた
親会社株主に 帰属する 中間純利益	1,427	263.3%増	

○連結セグメント業績概要

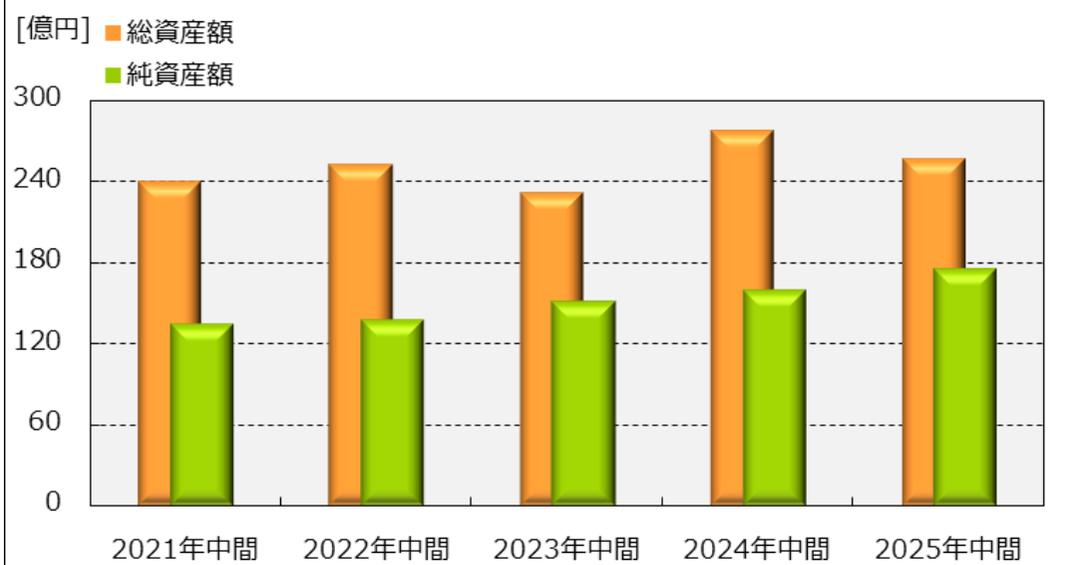
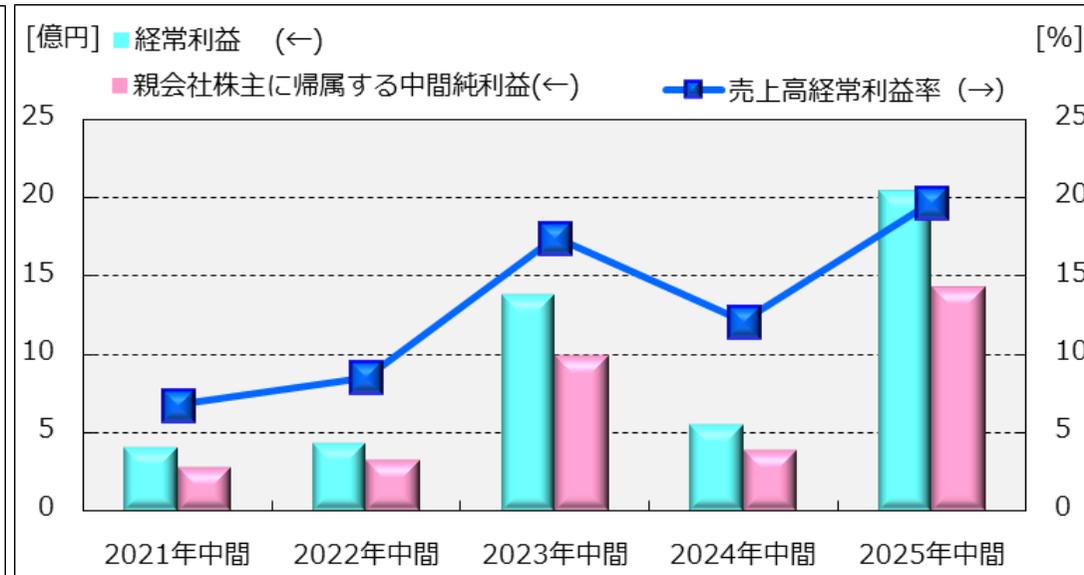
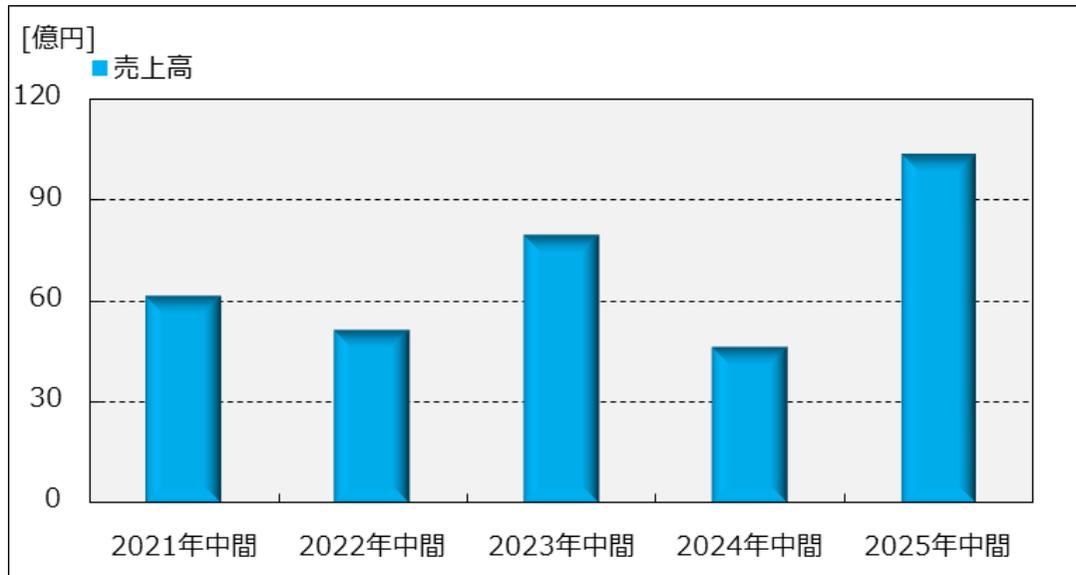
《セグメントの業績》

(単位：百万円)

セグメント	実績	前年同期比	増減要因	
巻線機事業	売上高	8,121	206.1%増	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 前期からずれ込んでいた案件を含む×EV用モーター巻線システムのいくつかの案件を売り上げた ▶ 下期に売上を予定していた追加治具や改造案件を前倒しで売り上げた ▶ 前期に引き続き消耗品・予備品が海外顧客向けを中心に好調に推移した
	セグメント利益	2,193	221.7%増	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 今後に向けた試験研究費は増加したものの、製造原価を低く抑えられた ▶ 利益率の高い追加治具・改造案件・消耗品・予備品が好調に推移した
送風機・住設関連事業	売上高	2,238	12.9%増	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 工作機械や産業用ロボット向け軸流ファンを中心に主要なお客様の停滞在庫の消化が進んだ影響で引き続き受注が回復しつつある ▶ 集合住宅向け浴室照明器具の受注や全館空調システムを含む住宅換気装置が堅調に推移した
	セグメント利益	72	—	

※ 送風機・住設関連事業における前年同期は51百万円のセグメント損失

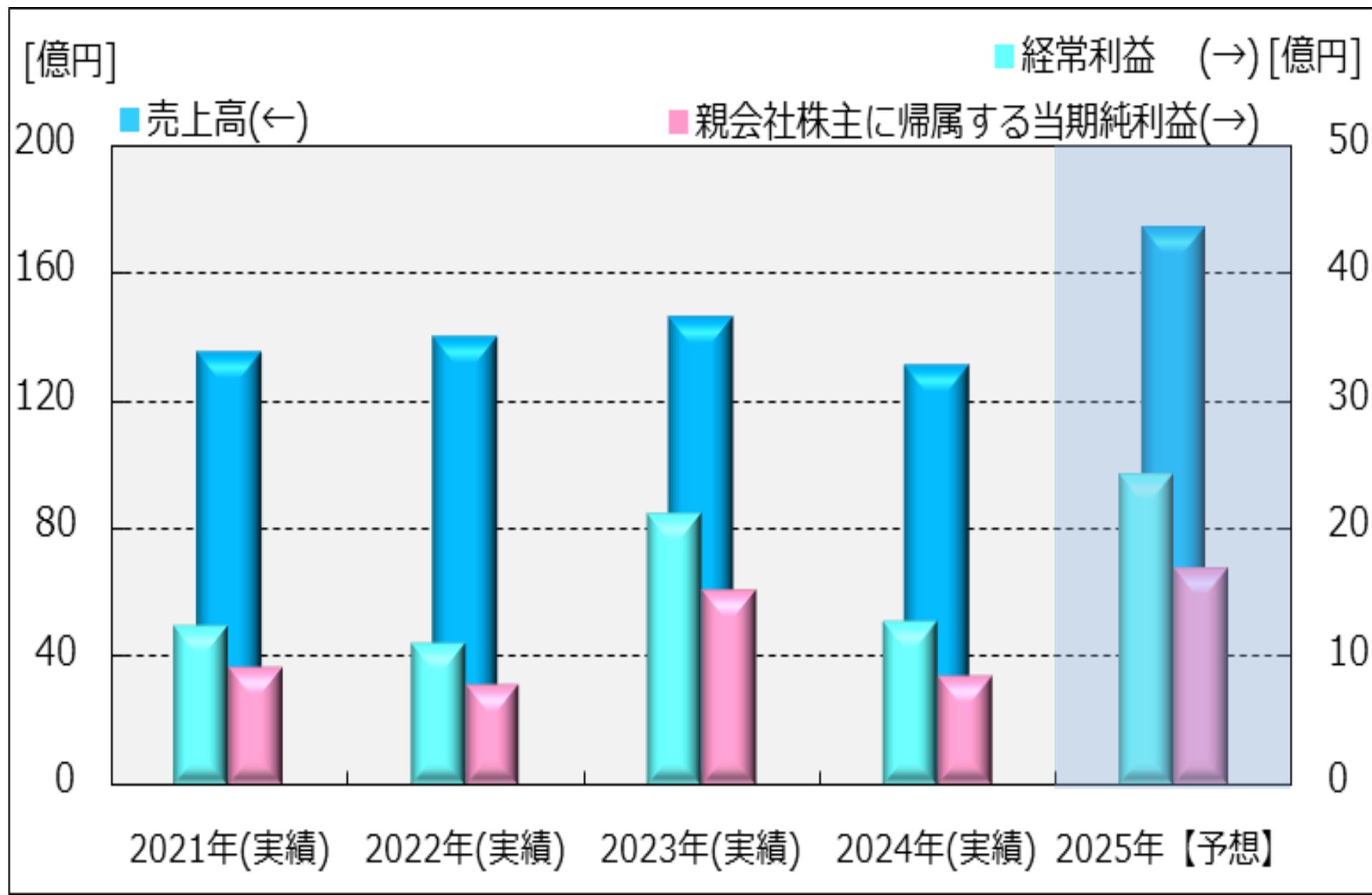
○連結業績の推移



○連結業績の推移

	2021年中間	2022年中間	2023年中間	2024年中間	2025年中間
売上高 (百万円)	6,117	5,123	7,927	4,635	10,359
経常利益 (百万円)	413	436	1,385	560	2,044
親会社株主に帰属する 中間純利益 (百万円)	285	327	993	392	1,427
純資産額 (百万円)	13,466	13,785	15,153	15,999	17,529
総資産額 (百万円)	24,046	25,224	23,133	27,785	25,630
1株当たり中間純利益 (円)	48.42	57.68	174.79	68.98	249.98
売上高経常利益率 (%)	6.8	8.5	17.5	12.1	19.7

○連結業績予想



○連結業績予想について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものであります。今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

⑦ 株式会社 小田原エンジニアリング